

海外派遣留学生  
留学報告書

学部学科・研究科専攻	文学部・日本文学科		留学時学年	3年生
留学先	国	フランス	大学/機関	ブルゴーニュ大学
期間	2025年 9月 27日 ~ 2026年 1月 25日			
	短期・中期・長期 ※○で囲んでください。		計 4ヶ月	

### [1] 参加したコースの時間数と時間割

- 授業時間数： 221時間
- 科目名（受講した科目を全てご記載ください）：フランス語 niveauA2

#### 【時間割】

時間	月	火	水	木	金	土	日
例) 9時~13時	○	○	○	○	○	○	Free
9時~13時	Free	Free	○	○	○	Free	Free
13時30分~16時	Free	○	○	○	Free	Free	Free

### [2] クラス編成や授業方法について教えてください。

- 【例】クラス人数、国籍割合、担当の先生、授業方法、使用教材等  
17名。うち日本6、イラン4、韓国1、ベトナム1、ナイジェリア3、モロッコ1、カザフスタン1。  
担当教員 シンティア・レシニャック Cynthia Lesignac  
授業は大学の構内にある教室で行われる。天候によって対面授業ができないときは zoom を使用した。  
使用教材は担当教員から配られるプリントなどの書類。

### [3] 課外活動や週末の過ごし方について教えてください。

週末の土曜日は専らトラムに乗って大きなスーパーマーケットへ買い物に出かけ、ほとんどの店が営業していない日曜日は自室でストレッチなどして体の調子を整えていた。余力があるときには町を散策したり、日帰り又は泊りの旅行に出かけたりもした。

#### [4] よく利用した施設について教えてください。(図書館、学生会館、スポーツ施設等)

大学内の施設は特に利用していない。使用していた教室は構内の建物の一部といった形ではなく、完全に独立していたからである。昼食はカフェテリアを利用せずに教室で持参の弁当を食べていた。

#### [5] 宿舎（寮やホームステイ）での生活について教えてください。

部屋：1部屋1人で使用

様子：寮での生活。共同キッチンは各階にあり、ランドリーは地下に洗濯機が3台、乾燥機が2台あった。一階ロビーにウォーターサーバーがあるものの、現地の水道水が合わない人はこちらを使用せずに自分でミネラルウォーターを買いに行くのがよいとみられる。

学生たちが学校へ行っている間に、清掃業者の方々が掃除を行ってくれてはいたものの、それでも清潔であるとは言えない場所だった。大らかな人であれば気にならないのかもしれないが、几帳面な人はある程度自分で掃除する必要がありそうである。

#### [6] 留学中に楽しかったこと、苦労したことを教えてください。

- 楽しかったこと：一人旅に出かけたり、街を散歩したりしたことが非常に楽しかった。散策の最中にふと目についた物や事、何故そうであるのか気になる物の正体を、納得のいくまで探してみると、新しい発見や日本との文化の違いを見つけることができ、それを受け自分はどうしたいのか、どうあるべきかを一つ一つ心に落とし込んでいく過程自体が興味深く意義深いものであったと感じる。また、博物館や美術館、動物園、昆虫館などで日本では見られない物や動物を見ることができたのが楽しかった。特に鳥羽揚羽、アトラス蛾の標本、シファカ的一种、グラダヒヒ等に出会ったときは気分が高揚した。フランスの歴史について勉強できたことも勿論楽しかった。
- 苦労したこと：言葉と文化の違いと現地の人間関係については苦労した。渡航前にしっかり勉強していても、最初の一か月はネイティブスピーカーの速度に振り落とされっぱなしで、スーパーに買い物に行くのすら嫌だと感じるほど会話に怯えていた。また、フランス人は言葉に責任を持たない人がまあ多く、いい加減なことを言われて、表では平静を保っていたものの、内心腹を立てていたなんてことも多々ある。  
寮という閉鎖的な世界での人間関係がどうにも不快だった。くだらない憶測を口にする人達や傷の舐め合いに執心する人達など、見たくないものが見えるという環境は非常に苦しかった。うまいやり方でなくとも良いからとりあえず距離を取ってみようと思い立ち、実行したら大分楽に過ごせた。

#### [7] 留学の成果について教えてください

- 1) 語学力の向上：全体的に向上した実感がある。中でも語彙力は飛躍的に伸びたと思われる。現地にいた時は毎日知らない単語に出会っており、常に辞書を引いていた。次点でリスニングの力がついたように思われる。滞在2か月目頃までは担当教員が何を言っているのか、そのスピードについていこうと常に頗る集中していたため、授業後は毎日頭が痛かった。意味と方向性と温度感が宿った、実際に使用されているフランス語を浴びるほど聞いたのは、やはり一学習者である自分にとって大きな意味があると感じた。

- 2) 専門知識の向上：直接的な向上とは言えないかもしれないが、フランスの歴史を学ぶことによって、日本の歴史や文化の特異性が見えてきたように思われる。この環境の中で育まれた日本文学は何を反映しているのか、どのような影響を与える可能性を孕んでいるのか。自らの専門分野に対し、真摯な姿勢を貫こうとする心持ちを手に入れることができたように思われる。
- 3) 自己成長など：大いに成長した。結果に焦ることなく、過程を重視する「持続的に学習する力」が身につき、連鎖的に一度の失敗に対して思いつめることがなくなった。それに伴って自己主張する力も身につき、さらには、寮内の不健康な人間関係を観察し続けることによって、自分自身を自分で定義づける力や他者による不当な評価の影響を受けない、すなわち自己のアイデンティティを何者にも傷つけさせないといった自己防衛力が身についたように思われる。

## [8] 来年度に留学を希望する学生へのアドバイスをお願いします！

私にとってこの度の留学は自分自身と出会いその人を認める旅になりました。この辺のことは報告書に書ききれないほど色々なことを思ったので割愛しますが、このような旅をしてきた私ができるアドバイスはシンプルにたった一つです。自分の好きなように過ごしてみてください。日本ではできないようなことをしてみるのもいいですね。例えばルーティーン通りに過ごすのをやめてみるとか、ちょっと怖いと思うようなことを先ず率先してやってみるとか。とりあえず何でも勇気を出してやってみることに、毎日ご機嫌に過ごすことが大事です。クレカとか荷造りとか実用的なことが聞きたければ、フランス語研究室に遊びに来てください。大体のことは力になれると思います。

## [9] 留学に関する費用の総額について内訳を教えてください。

	内訳		金額 (留学時の日本円)
1	短期留学者のみ	旅行会社に支払った経費（授業料、フライト代他）	
2	中期・長期留学者のみ	フライト代	195140円
3	中期・長期留学者のみ	滞在費（寮費・ホームステイ代など）	365969円
4	教材費		0円
5	保険代		69430円
6	私生活における諸経費（食費・交通費・洗濯費等）		約16万円
7	個人的な買い物		約5万円
8	その他（日本の家の家賃、光熱費。旅費）		約30万円
9	留学に関する費用（1から8の合計）		1140539円
10	受給した奨学金（奨学金名：国際交流奨学金）		10万円
11	留学に関する費用総額（上記9から10を引いた額）		1040539円

